

1. 評価報告概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

【評価実施概要】

事業所番号	1970800221
法人名	社会福祉法人清長会
事業所名	グループホーム 敷島荘
所在地	〒 山梨県甲斐市大久保1351 電話番号 055-277-8811

評価機関名	山梨県社会福祉協議会		
所在地	山梨県甲府市北新1丁目2-12号		
訪問調査日	平成19年9月27日	評価確定日	平成19年10月31日

【情報提供票より】 明治33年1月0日 事業所記入

(1) 組織概要

開設年月日	平成13年3月1日			
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9	人
職員数	8人	常勤	3人	非常勤 5人 常勤換算 4.4人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	1 階建ての 0 ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷金	<input type="checkbox"/> 有() <input checked="" type="checkbox"/> 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input type="checkbox"/> 有() <input checked="" type="checkbox"/> 無 有りの場合 償却の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
食材料費	朝食	- 円	昼食	- 円
	夕食	- 円	おやつ	- 円
	または1日当たり 1,200 円			

(4) 利用者の概要 平成19年9月11日 現在

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名		
要介護3	5 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.1 歳	最低	75 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	大久保医院(内科) 花園病院(精神科) 花形歯科
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】 作成日 平成19年10月9日

雄大な山々を眺める事の出来る自然環境に恵まれた高台に立地しており、併設施設として介護老人福祉施設やデイサービスがあり、荘長はホーム開設以来毎朝足を運び利用者の様子や職員との連携に心くばりして介護の質の向上に繋げ、併設施設との交流も気軽に出来ている。19年度の計画として利用者個々の笑顔のある幸せな生活づくり・地域との連携・職員の質の向上・ホームの質を高める健全経営の推進・防災訓練の徹底を挙げ取り組んでいる。また、感染症の予防や対応の取り決めがあるだけでなく利用者の手洗いや清掃の際には強酸性電解質による消毒殺菌を実施し、利用者それぞれも個人用のほうきがあり居室やホールの掃除が日課になって清潔が保たれている

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回の評価で改善課題となった介護計画の見直しが6ヶ月毎から3ヶ月毎に改善され、注意の必要な物品も安全保管され地域住民との交流の促進も図られ、利用者の金銭管理、家族への報告と確認については家族の状況によっては管理者が家族のもとへ出向く等改善課題に取り組んでいる
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 日々のサービスの提供について客観的に振り返り、改善すべき点を職員会議や勉強会等で確認し全職員共有して、利用者にとってより良い環境となるよう提供するサービスに活かす姿勢がある
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議のメンバーは、利用者代表1名、家族代表1名、地域住民代表3名、地域包括支援センター1名、事業所代表1名、事務局2名の計9名の構成で2ヶ月毎に開催されて、グループホームの運営やサービスの向上について意見交換がなされ、時には利用者の外出に参加して介助体験や昼食を共にして利用者の様子や実際を見てサービスの質の向上に繋げている
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族会開催の折、サービスの内容についての意見や不満、苦情が気軽に言ってもらえるような雰囲気づくりに努め、家族同士が連携を深められるよう留意しており、家族の訪問時や定期的な報告時には、利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理等個別の報告がされている。また、家族所有の葡萄畑での葡萄狩りを利用者が楽しめる取り組みがされた
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地区の夏祭り、秋祭り等自治会行事に参加し、施設行事の納涼祭やバーベキューに参加していただく等交流があり、すぐ近くの方は、利用者が楽しめるようにと四季折々の花を自宅道路側に植えてくれたり、降雪時の雪かきの支援を受けているが多くの近隣の方との交流が深められるよう19年度の計画の1つに地域との連携を挙げ保育園や小学校、他のグループホームとの交流を含め地域に開かれた運営を目指している

2. 調査報告書

事業所名：グループホーム 敷島荘

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所及び職員は、常に利用者一人ひとりの尊厳を護り、明るく家庭的な雰囲気の中で、それぞれの心身機能の向上やライフスタイルに合わせた自立支援、地域の一員として生活しつづける環境の整備等、サービスと質の向上を図っている		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所独自の基本理念を玄関に掲げ、毎朝のミーティングにおいて、基本理念を読み上げている	○	基本理念を毎朝のミーティングにて読み上げ、管理者と職員は、理念の共有に取り組んでいるが、実践にむけてさらなる理念の具体化が期待される
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	牛久地区の夏祭り、大久保地域の秋祭り等自治会の行事に参加し、施設行事の納涼祭やバーベキューに参加していただくなど交流があり、すぐ近くの方からは利用者が楽しめるようにと四季折々の花を自宅道路側に植えてくれたり、降雪時の雪かき支援を受けている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価時に改善点であった介護計画の見直しが6ヶ月毎から3ヶ月毎に改善され、注意の必要な物品の安全管理や地域住民との交流の促進、利用者の金銭管理、家族への報告と確認等、自己及び外部評価を活かして全職員共有して改善に取り組んでいる		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、9名のメンバーで構成され2ヶ月毎に開催されて、グループホームの運営やサービスの向上について意見交換がなされ、時には利用者の外出時に参加して介助体験や昼食を共にして利用者の様子や実際を見てサービスの質の向上に繋げている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所は、市の各種委員会の委員を引き受け、相互の意思疎通を図り、情報提供と関係づくりを積極的に行い、運営推進会議の日程決定については市担当者の都合を優先させる等して市町村との連携を密にしている		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	年二回グループホーム便りを発行して利用者の暮らしぶりを知らせている。また、健康状態、金銭管理、職員の異動等については、家族が訪ねて来た折や定期的な報告時と本人や家族の状況に合わせて個別の報告がなされている		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	事業所は家族会を設け、家族会開催の折、サービスの内容についての意見や不満、苦情が気軽に言ってもらえるような雰囲気づくりに努め、家族同士が連携を深められるよう留意し、それを運営に反映させている		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は利用者が馴染みの職員による支援を受けられる事を重視し、異動は必要最小限に抑える努力と職員は宝という考えのもと、離職の希望が出ないよう働きやすい職場を目指し、職員同士のコミュニケーションを図っている		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は、職員は宝と考え、職員の質の確保・向上に向けた育成の必要性を理解し研修機会を計画的に確保し、資格取得に向けて配慮している		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者と交流会を開催し利用者や職員が交流を深め、お互いの事業内容について意見交換などを行っている。10月13日には、雀のお宿の第二回雀祭りに参加し、当事業所のクリスマス会に招待する取り組みが計画されている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	いきなりサービスを利用するのではなく、本人が安心し納得してサービスの利用が出来る為に体験入所が無料で受けられ、職員や他の利用者や場の雰囲気に徐々に馴染める工夫をしている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者が家族の事を心配し不安な気持ちになった場合、話を十分聞き本人の立場になって考え安定した生活を支援している。また、昼食時に管理者の食欲のない様子に気づいた利用者からは優しい言葉かけがたくさんあり、共に支え合う関係が築かれていた		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の生活歴の把握と日々のかかわりの中で声をかけ、行動や表情から一人ひとりの暮らし方の希望や意向の把握に努め、介護計画に反映している		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	肺炎で1ヶ月の入院となり車椅子生活になってしまった利用者や家族の意向を踏まえた中で、以前のように歩行可能を意識して介護計画をたて取り組んだ結果1ヶ月で歩行可能となった		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎の見直しと毎月20日に行なわれている職員会議において日々の気づきや意見を反映し、利用者の状態変化や状況によっては現状に即した新たな介護計画を作成している		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	短期利用については、事業所の定員範囲内で空いている居室の利用と1名の利用者で期間が30日間と定められているが認知症対応の居住環境や職員の機能を活かした支援をしている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望を大切に、入所前のかかりつけ医との関係を維持しながら、必要に応じて事業所協力医療機関の内科医や精神科医の往診を受けられる支援をしている		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人や家族の納得の上、入居時に併設の特養に申し込みを行い、重度化した場合に対応しているが、現在立位は可能だが歩行禁止で車イス使用となり重度化した利用者に対しては本人の意向や本人にとってどうあったらいいのか事業所が対応しうる支援方針を全員で共有して事業所での生活を支援している		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	事業所は基本理念の一つに一人の人間としての尊厳を大切に、優しさと心のこもったサービスの提供を掲げており、その実践として全職員は、利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応をせず笑顔で共に過ごす姿勢が見られた		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の途中で入れ歯をはずし手にしている利用者に対してさりげなく歯みがきの声かけをして洗面台に移動の支援を行い、再び席について食事を摂る利用者の様子には、職員の都合を優先するのではなくその人のペースを大切にして支援をしている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	年1回の嗜好調査と日常の様子から、一人ひとりの希望の食べ物を取り入れる配慮と利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。また、かなり高度の食前体操を利用者の音頭で全員がしっかり行っていた		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴できる体制としており、入浴中の安全に配慮するとともにくつろいだ気分で入浴できるよう支援している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしピアノ演奏や調理が得意なそれぞれの利用者から職員が教えてもらい頼りにすることで活気と生きがいを持つ支援をしている。毎週木曜日は習字、隔週で絵手紙も行われている		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	陽気の良い時は、事業所の周りを散歩したり、デイサービスや喫茶コーナーへ出かけたり、日曜日は数人のグループ毎におにぎりを持ってドライブに出かける等、日常的な外出支援を行なっている		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	事業所の玄関や居室のドアには鍵をかけず常に開放しており、利用者が外出したような様子を察知した時はさりげなく声をかけたりついて行く等、自由な生活の支援がされている		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	自衛消防組織が生まれ年間10回の避難・消火訓練を実施、自動消火・自動通報装置等の防災設備も完備、非常時緊急連絡網は通常勤務時と夜間勤務時別に備えており、日ごろより近隣や併設施設の協力体制がとられている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	同じ絵柄の大小の皿に主食が盛られる配慮と、個々に食べる量や好みを把握したバランスの取れた食事、水分確保を支援している		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天井が高く明るい日差しが差し込む広々としたホールは、リビングとしてテレビやカラオケ、ピアノの演奏が楽しめ、利用者が弾くピアノに合わせてそれぞれの利用者が一緒に歌ったり聴いたりして心地良く過ごせており、畳のスペースにはこたつがあり冬でも団欒が楽しめる		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物が置かれ利用者が応募して新聞に載った俳句が拡大されて居室に貼られるなど居心地よく過ごせる工夫をしている		